

第3回日本都市計画学会東北支部南東北ブロック学術交流会開催の報告

「第3回日本都市計画学会東北支部南東北ブロック学術交流会」が、平成25年3月2日（土）の13時より、郡山市民交流プラザ第1会議室で開催された。学術交流会では、石坂公一東北大学教授の総合司会のもと、相羽康郎東北支部長（東北芸工大教授）の挨拶と趣旨説明に続き、高専生・学部生・大学院生（博士前期・後期課程）による研究成果が発表された。発表は高専および5大学からの合計20題、一人あたり質疑応答を含め11分で、およそ4時間に及んだ。参加者は、会員以外の一般市民を含め、約60名であった。また、セッションの途中で、脇坂隆一氏（国土交通省）の東日本大震災からの復興に関する有益な特別発表が行われた。

発表終了後には、同施設内で懇親会も開催され、参加者間で多くの意見交換が行われ、大変有意義な交流会となった。

■ 第1セッション（5題）／ 司会：川崎興太（福島大学）

1. 公園内における移動イス設置方法に関する研究（大矢康隆：日本大学）
2. 景観協定手法に関する研究 — 景観形成基準策定に対する支援方法について —（大佐古和明：日本大学）
3. ローマの街路空間における探索歩行時の注視に関する研究 — 経路選択と探索行動について —（薄井謙：日本大学）
4. 街区単位にみる土地利用変化の特徴について — いわき市平中心市街地を対象として —（加藤雅俊：福島高専）
5. 中山間地域におけるコミュニティの実態と変化について（渡辺彩花：福島高専）

■ 第2セッション（5題）／ 司会：土方吉雄（日本大学）

6. 木造応急仮設住宅の再利用に関する研究 — 東日本大震災における部材供給と施工体制からみた再利用計画 —（大島千佳：東北芸工大）
7. 出荷制限と作付制限が行われた福島市大波地区における農地・農業の現状に関する研究（長島和也：福島大学）
8. 重要伝統的建造物群保存地区・大内宿における家並みの変容・保存に関する研究 — 基準仕様と異なる増改築等が行われる理由を中心に —（渡部雅人：福島大学）
9. 福島市渡利地区の南向台地域における除染の経緯と現状 — 市と住民との関連性について着目して —（船山悟：福島大学）
10. 裏磐梯地域におけるエコツーリズムの現状の問題点に関する研究 — ガイドを中心とするエコツーリズム関係者の意識調

査に基づいて —（三部和哉：福島大学）

■ 特別発表：「東日本大震災からの復興の現状と課題」

（脇坂隆一：国土交通省東北地方整備局都市調整官）

■ 第3セッション（5題）／ 司会：姥浦道生（東北大学）

11. 新規に設定した都市計画区域の技術的基準に関する研究（安澤尚紀：長岡技科大）
12. 準都市計画区域の運用実態と今後の運用手法に関する研究（小林達也：長岡技科大）
13. 政令市移行による都市計画区域再編の経緯と課題に関する研究 — 新潟都市計画区域第5回定期見直しの経緯と課題 —（赤井瑛：長岡技科大）
14. 非線引き白地地域で指定された風致地区の土地利用規制に関する研究（大友仁志：長岡技科大）
15. 災害を契機とした高齢者の交流活動の変化 — 集合住宅居住者の場合 —（吉村東：東北大学）

■ 第4セッション（6題）／ 司会：樋口秀（長岡技科大）

16. 最小運営規模を考慮した土地利用計画モデル（戸谷智志：東北大学）
17. 協働事業提案制度の運用実態に関する研究 — 大和市の協働事業提案制度を事例として —（秋山聖：東北大学）
18. コミュニティ抽出法による産業集積の検出（佐藤加斐：東北大学）
19. 三大都市圏市街化区域の土地税制が農地転用に与える影響の実証的検討（小長井遥：東北大学）
20. 中国におけるニュータウン・コミュニティの階層分化 — 江西省南昌市紅谷灘新区における住民調査を事例として —（滕媛媛：東北大学）
21. 高齢化社会における医療機関によるまちづくりに関する一考察 — 福島市を事例として —（和田賢一：東北大学）



（文責：三浦金作／日本大学教授）